

ショウキラン

Yoania japonica Maxim.

ラン科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

本県ではきわめて稀産の植物である。ショウキラン属植物は我が国には2種を産するがそのうちの1種ショウキランが絶滅危惧植物である。(現況:RO)

形態

茎は白色でやや紅紫色をおび、高さ10～25cm。半円形の鱗片葉をまばらに着ける。花は紅紫色で3～7個が茎頂に着き、長い柄があり直立する。萼片は長楕円形で長さ22～25mm、花弁は長さ2cm、唇弁は直立、紫色の斑点があり、無毛。距は淡黄褐色で、7mm、開口部に黄色の長毛がある。

国内分布

北海道西南部、本州、四国、九州・屋久島に分布。

県内分布

南加賀区(白山麓)。

生態など

腐生の多年生草本。開花期は7～8月。

生育環境

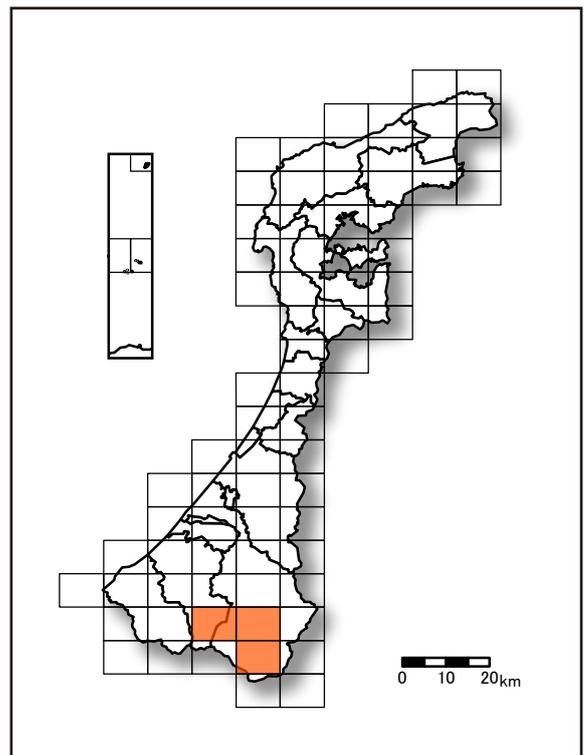
樹林の林床あるいはササ低木林。

危険要因

道路工事、自然遷移。



白井伸和・2006年7月6日・白山



県内の分布